

学校適正規模・適正配置に関する地域意見交換会

日 時	令和5年8月31日(木) 午後7時から午後8時40分	場 所	狩川まちづくりセンター 「タチヨリ」3階ミニホール
出席者	教育委員会	佐藤審議会副会長、梅木教育委員、太田教育委員、齊藤教育委員、 佐藤教育長、佐藤課長、菅原補佐、富山指導主事、渡部(恵)主 査、渡部(進)係長	
	地域参加者	29名(保護者3名、地域住民15名、その他11名)	
1 開 会	19:00		
2 あいさつ	佐藤教育長		
3 説 明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会の経過と今後のスケジュール ・ 児童生徒数推移 ・ アンケート結果の概要 ・ 答申案概要 ・ 学校整備の流れ(案) ・ 小学校学区編成についての考え方(案) (資料に沿って事務局が説明)		
教育長	<p>しばらくの間、意見交換の座長を務めさせていただきます。進行にご協力をお願いします。只今、事務局の方から、児童生徒の減少の課題、学校施設の老朽化の課題などを受けて、20～30年後を見据えてということで、審議会ですべて話されてきた内容の報告と補足の説明がありました。意見交換の進め方として、まず最初に小学校の学校整備について、次に中学校の整備についてと分けて進めていきたいと思っております。</p> <p>それでは、小学校の整備については、審議会の方針としまして、児童数の減少や校舎の老朽化を考慮すると、余目一小、二小、三小は一つの学校として優先的に整備することが望ましいということと、また、将来的には庄内町の小学校は一つになるにしても段階的な移行が必要であるということ。特に余目第四小学校と立川小学校については、地域とのつながりや歴史的背景を考慮すると地域や保護者の方の合意形成のもと、より丁寧に進める必要があるのではないかと意見が出ております。これにつきまして、皆さまからご意見をいただきたいと思っております。資料4、8ページの学校整備にあたっての審議会意見につきましても、ご意見をいただきたいと思っております。なお、ご発言の前に受付で書いていただいたような形で地域名とか、ご自分の立場、氏名を述べてくださるようお願いいたします。例えば、「上朝丸の地域住民、または、保護者の〇〇〇〇です」と発言していただくとありがたいです。</p> <p>それでは、小学校の方からご意見いただきたいと思っております。いかがでしょうか。</p>		
A	<p>三つ質問があります。一つ目は、9ページのパターン1からパターン3について、試算ではどのくらいの事業費を見込んでいますでしょうか。そして、それには、用地買収の費用も含まれているか教えてください。</p>		
教育長	それでは、事務局お願いします。		

課長補佐	私の方から、学区を編成した際の試算について説明します。いろんなパターンがありますので、パターンを決めて試算した場合の金額になりますので、先ほど説明した段階的に学区を編成した際は、金額が変わってきますのでご了承ください。最初にパターン1ですけれども、一小、二小、三小を新築、四小、立小をそれぞれ長寿命化すると、初めから決めて将来的に3つの学校で、試算した場合が43億円。パターン2ですけれども、初めから一小から四小を統合しますよ、立小は長寿命化でいきますよとして試算した場合は40億円。パターン3ですけれども、一小、二小、三小を新築し、四小、立小どちらかを長寿命化して統合する場合は35億円。パターン4は初めから5つの小学校を統合した場合は33億円ということで、こういったケースもありますよということで参考に審議会の方に提示しております。審議会が出た案としては、段階的にということでしたので、初めにパターン1で進んだ場合、一小、二小、三小を新築した場合は26億円かかりますけれども、四小と立小を長寿命化するとは限らないので、例えば、一小、二小、三小が新築で進んで、四小、立小については合意形成が進んで長寿命化しないでパターン4に移行することがあれば26億円で押さえられるということも考えられますし、2校の場合は、パターン2、パターン3に進みますが、その場合は26億円とどちらかの学校、四小もしくは、立小を長寿命化することで、その分を足した金額ということで、パターン2、パターン3については、段階的にということ35億円くらいになるのかなと考えています。
A	用地買収も含めての金額でしたか。
課長補佐	用地買収分は含んでなくて、校舎、体育館の建物だけの金額になります。
A	質問の二つ目ですが、先ほど説明の中に各学校の築年数、経過年数がありましたが、審議会に出された資料と築年数が相違しているのですが、どちらが正しいのですか。
教育長	ありがとうございます。事務局お願いします。
菅原補佐	審議会に提出した年度と今の年度が違いますので、1年程度ズレがあるかと思えます。
A	三つ目ですけれども、今年の気候でですね、北海道の学校でも教室の温度が暑くて授業ができないというようなニュースが出ましたけれども、庄内町についての各学校の各教室の冷房化というのは何%くらいになっているんでしょうか。
教育長	ありがとうございます。事務局お願いします。
課長補佐	各学校のエアコンの関係ですけれども、教室については、すべて行われています。職員室であったり、会議室であったり、そういったところにもエアコンは設置されていますので、何%ということは言えませんが、主要なところにはエアコンが設置されています。
教育課長	補足させていただきます。学校の教室といいますと普通教室と特別教室ということで、例えば、音楽室や図工室などありますが、普通教室につきまして

	は100%整備が終わっております。図書室においても終わっております。特別教室の一部で、まだ設置になっていない学校があるという状況です。
A	意見になります。29日の意見交換会で今の余目中学校を小学校にしてというような意見が出ておりましたけども、最初、私もいい話だなと思ったんですが、やはり、旧立川地域から小学校にスクールバスで通うとなると、小学校に関しては、アンケートの結果で30分未満から45分未満の方が多かったように思いますが、そこで中学校は、審議会で話し合われたとおり、今の余目中学校を長寿命化して利用していくという案に賛成です。先ほどの試算での説明でもありましたが、審議会ではパターン1、パターン3でいくような意見が感じられました。その場合、いずれにしても、将来的には、20年、30年を見据えればパターン4の1校にした方がいいという意見がなされています。そうすると35億円かかって、また、何年かするとお金をかけてやるよりも最初から33億円で1校でやった方が、生みの苦しみが1回で済むのかと思います。庄内町で同じ教育を平等に受けれるのであれば、小さい小学校もいいという話もありますが、それはそれでいいところもありますけども、やはり、一つの学校で同じ環境で同じ安全面で教育を受けた方がいいのではないかと、それから、そうなりますとスクールバスが非常に重要になってくるわけですが、スクールバスの費用につきましても、審議会の資料のパターンB、小学校1校、中学校1校として統合した場合は6,923万円、パターンCとして小学校2校、中学校1校の場合は6,917万9千円と5万1千円しか差がありません。そうした場合、最初から小学校を1校、中学校1校を統合して、スクールバスを活用してやった方がいいのではないかと初めに中学校ではなくて、小学校の統合から始めて、先ほどの築年数にもありましたけども、中学校の方が小学校よりも築年数が新しいわけです。立川中の場合は26年、余目中の場合は35年、小学校、一小、二小、三小が老朽化して危ないということであれば、1校早めに統合してやった方がいいかと思えます。その場所的なものは、現在の第四小学校に新しく小学校を1校造ると、そうすれば用地買収も比較的安く済むと。立川地区、立谷沢に小学生が何人いるかわかりませんが、通うにしても30分、一小から通うにしてもだいたい30分あれば通えるということで、運用の方法についてはまた、検討になると思いますが、真ん中辺の第四小学校付近に新築して、そこに小学校を1校にするという考え方をどうかと意見を述べさせていただきます。
教育長	ありがとうございました。中学校も含めてのご意見でした。事務局お願いします。
教育課長	審議会での審議の状況を少し説明させていただきます。審議会では、答申案にありますとおり、余目一小、二小、三小、この学校は古くなっている。この三つの学校は一つにすべきだということで審議会で意見が出ております。それから、子どもが少なくなった場合将来的には1校にするということで、これも意見が出ております。この途中をどのようにして、段階的に進めてい

	<p>くかについては、審議会では意見がまとまっていなかったところになります。このように地域意見交換会で、皆さま方の意見を参考にしながら審議会で考え方をまとめていきたいというのがありましたので、只今いただいたご意見につきましては、審議会の方に報告させていただきたいと思います。</p>
A	<p>もう一つ、今の考え方なんですけども、10年、20年先を考えれば、小学校2校ということもあるかなと思います。この審議会にあります20年、30年を見据えてということに重きを置くのであれば、小学校は1校ということで、今から向かっていった方が、経費的にも時間的にもいいのかなというのが私の意見です。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。他に小学校の学校整備について何かございませんか。</p>
B	<p>学校統合を考えると、今日の説明を聞く限りにおいては、小中抜きにしては考えられないんじゃないかなというふうに思っています。私も立川で育ってきていますので、今までの話を聞きますと、どうしても余目に寄りがちな意見になっているんじゃないかなと、そのように考えさせられるなというのが多いです。最終的に20年、30年考えたときにパターン4の1校になる可能性が多いわけですよ。今、言ったとおり、四小学区のところ建つのかなという気持ちもしないでもないです。それが一番公平なような気がします。併せて、今度中学校を見ると、立川中学校は人数も減っていますし、他の審議会の中でも立川中学校は早めに統合して、子どもたちがもっとバイタリティある活動ができるような環境を整えてあげたらどうだろうという、そういう意見も出ているという話も聞いています。そんな中でですね、立川の住民として、例えば、私のところは狩川だからそんな影響はないですよ。けども、例えば、立谷沢の瀬場あたりから余目中学校に通うと、どのくらいの距離があるのか、45分というのはストレートに言って45分というのかもしれないけれども、うちの家内が大中島小学校にいましたので、その時、通勤距離が片道24キロです。私が余目中学校にいましたので、だいたい10キロですよ。そうすると、だいたい33キロ、34キロなんですよ。33キロ、34キロというと、例えば、狩川の駅を中心にして、どこの中学校までいくかと思いませんか。一番近いのはですね、新庄中学校です。遊佐中学校はもっと近いですよ。26キロくらいですか。狩川駅から遊佐中学校に行くよりも遠い距離を毎日通うんです。まして、小学校が余目地区に建設されたら子どもたちは、ほんとに大変だと思いますよ。ちなみに、陸羽西線がバス代行ですよ。狩川駅から新庄駅まで1時間10分ですよ。スクールバスはそれよりも早いかもしれないけども、そういうことも最終的には考慮していただかないと、子どもたちの教育が大人の都合で振り回される。さっき、説明の中で四小、立小について歴史的な事とか、よくわかりますが、それだって大人の都合ですよ。子どもたちに何の責任もないですよ。その辺を少し考えてもらわないと、もし一緒にするときには可能なのであれば、これは意見なんで、活かされる活かされないは別なんですよ。可能なのであれば、中</p>

	<p>心、もう少し四小学区あたりに建ててもらいたい。私この間出かけて、ぐるっと最上の方まで行ってきたんですけど、こんなところに何だこの建物はと思ったら、周りに何もなくて中学校があるんですよね。真室川中学校です。周りに何もありませんよ。福祉施設しか。そんな山の真ん中にあるんですよね。たぶん、いろんなことを考えてやったと思います。学区再編はものすごく大変でいろいろあるんだと思うんです。いろいろとある中で決まるのは仕方がない。けども、誰も意見を出さなくて、「あっ、そうですか」で終わってしまったら、あと、立川に住む人がいなくなってしまうんじゃないですか。そんなことも少し考えていただいて、最終的にどうなるかはわかりませんが、検討していただければありがたいし、例えば、小学校3校統合したときに、中学校を真ん中あたりに造っちゃって、小学校は余目中学校を改修してしまって、最終的に統合するときには、四小あたりに小中一緒にしてやれば、お金もかからないですよ。そんなことも考えられなくはない。でもそれは、政治的なものだったり、財政的なものだったりがあって、難しいかもしれない。でも、子どもたちのことを考えてもらえるのであれば、そういうことも耳に入れてほしいなというふうにして思っています。瀬場に今、人がいないのかもしれない。でも住むかもしれないですよ。その昔、飛島小中学校、休校でしたよ。廃校にはしていなかったんです。だから移住して、飛島小中学校を新しく再建したんですよ。だから、ひょっとしたら、立谷沢にも人が来るかもしれない。人を呼ぼうとしているんですよ。じゃあ、その時に30数キロ、毎日通う、その辺のところは考えていただければなど思っています。ほんとにね、新庄中学校は狩川から34キロですよ。瀬場から余目中学校まで32キロですよ。ほとんど変わらないですよ。そういうことが現実的にあるということも理解していただきながら、検討を進めていただいて、その検討を進めた結果がこうだということであれば仕方がない。でも、誰かがそういうことも言わなければ、なあなあで終わってしまう。45分。確かに瀬場からストレートで行けば、それも夏場に、是非、そういうことも頭に入れていただいて検討していただければありがたいなと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございます。貴重なご意見だったと思います。事務局お願いします。</p>
<p>教育課長</p>	<p>ご意見ありがとうございます。只今のご意見につきましては、審議会でも同じような話が出ておりました。その中でですね、8ページ目の4の(3)通学への配慮という項目がございますけども、仮に余目の中心部に学校が出来た場合、通学が長時間になると、それで立川地域の児童生徒の発達段階に考慮していろいろな意見が出たところです。トイレ休憩を設けるとか、バスに乗っている時間を有効に使う。今までの立川小学校、立川中学校に通っていた時間より早く出発するようでは、家庭の負担が大きいということで、その場合はそうならないように、最低でも今までと同じ時間に出発できるように、学校の始業時間を遅らせるというような工夫をしてはどうかという意見も出てたということも添えさせていただきたいと思います。</p>

教育長	他にございますでしょうか。
C	<p>私の子どもも来年、小学校に入ります。今の意見と同じなんですけど、立川と余目が合併して何が変わったかという、少しずつ中心に便利なものが集まっていっていると、周りの人から良く聞きます。立谷沢地域は不便な暮らしになっているとよく聞きます。一番遠いところで瀬場から32キロを通学バスで対応するとき、バスが走らない時もあるんですよね。幼稚園のバスも走らない時があったんですよね。「今日は大雪だから、ごめんなさい、私、走りませんね。」というときもありました。こういうことも考えないといけないし、通学のことが一番大事だと思います。少子化対策の考えは、さまざま私も考えたんだけど、国として少子化対策を進めていくうえでは時間やアイデアや支援は必要だと思っています。パターンとしてはパターン3がいいかと思っています。一小、二小、三小が1校、四小と立小が1校がいいと思っています。パターン4で町内1校の学校では大変ではないかと思っています。立川地域のことを考えないと、ますます子どもが住まなくなってしまうんじゃないかなと、若い夫婦が立川地域から便利のいいところへ引っ越してしまうんじゃないかと思っています。立川地域にも小学校があつて、余目地域にも小学校があるということがバランスがいいのではないと思っています。もう一つ気になっていることが、部活動の移動のことで、とても重要な事です。スポーツ関係とか、どうやって移動するか、すごく親の負担になるのではないか。これについても考えないと、すごく大きな問題だと思います。20年後、30年後の話になるのかもしれませんが、今から決めておかないと、子どもたちの将来が可哀想だと思います。もう一つは使わなくなった小学校はどうするのか。解体するかなど、どのように考えているかお聴きしたい。立谷沢地域に使わなくなった建物がいっぱいあつて、そのままになっているので、小学校については、どう考えているのか。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。いくつかありましたので、事務局の方お願いします。</p>
教育課長	<p>一点目は、小学校を統合する際は、パターン3がいいのではないかというご意見だったかと思っております。先ほど少し説明しましたが、審議会の意見としては、一小、二小、三小を優先的に対応すべきであろうと、最終的に子どもがどんどん少なくなった場合には、町全体を1校とすべきだというふうに、最初と最後は意見がまとまったところです。その途中の具体的な進め方についてはまとまらなかったということです。只今いただいたご意見につきましては、審議会の中でこのようなご意見があったということで報告させていただきます。部活動の移動手段に関しましてですけれども、審議会の意見の中で出たものになりますけれども、統合すると決まった段階でどのようなことが考えられるか、検討させていただきたいと思っております。それから三点目、使わなくなった学校はどうするのかということでございますけれども、一小、二小、三小につきましては、資料にもありましたが、古くて老朽化し、危険であるという状況になりつつありますので、この学校を再利用す</p>

	<p>るのは難しいと思っております。そのため、将来的には解体というふうな方向で考えていますけども、財政的なお金の面もありますので、すぐ解体できるかというようなことは、財政当局と話し合う必要があると思っております。</p>
教育長	<p>よろしいでしょうか。</p>
C	<p>小学校については、新しい場所に新築するのか、今ある小学校のどれかを利用するのかどちらになりますか。</p>
課長補佐	<p>一小、二小、三小は新しい土地を求めて新しい学校を新築という考えです。パターン3については、四小、あるいは立小、どちらかを長寿命化して今後使い続けるという考え方になります。</p>
教育長	<p>よろしいでしょうか。それでは、他にございませんか。</p>
D	<p>人間の感情の部分について話をさせていただきたいと思います。昔、大中島小学校という学校がありました。だいぶ古くなったので統合するという話が出ましたが、ちょうど町長選挙の前の年でありまして、自分の地域では子どもを4人つくるので、学校を造って複式学級にしませんという話がありました。ところが、10年しないうちに閉校になってしまいました。立派な学校です。只今、森森ということで、鉄筋の建物なので潰すわけにもいかないということで、未だに使っているものであります。その関係もありまして、立谷沢小学校と清川小学校を統合しましょうという話がありました。清川小学校からちょっと立谷沢小学校の方によってという話になりました。そしたら、清川の住民たちがたった1メートルでも上に上ることはできない。下がることはできても、上ることはできませんということをおっしゃっていました。今、真ん中に寄せて、四小付近にということを出ておりますが、余目の一小、二小、三小の人たちが、自分たちは当然、立川より都会だと思っていると思います。なので、その人たちが、果たして、上に上ることを許すのかという心配をしております。統合問題については、何十年も前からそういうことを聞きました。統合する必要があるとは思いますが、前の町長がトラウマになって、問題に触れたくないというふうなことも聞いたこともあります。そんなことで、今、真ん中あたりということだという話が出ているのは当然かと思っておりますけども、昔、立川中学校には寄宿舎がありました。冬期間、立谷沢方面からはスクールバスが来られませんが、立谷沢の子どもたちは寄宿舎から学校に通ったということもあります。今現在、セミナーハウスというのでも解体されておりますけども、そんなことでその辺の配慮といえますか、私は狩川の者で、余目の人の感情をいう必要はないのかもしれませんが、果たして、余目の人たちが真ん中でいいかということと、将来子どもが少なくなったということに関して、前、立川小学校になったときは、最終的に4つの小学校を1つにまとめたというのはPTAの方々でした。どうせやるんだったら一つにしてください。スクールバスで40分くらいかかるという話もありましたけども、それでも1校にしてもらいたいということで1校になったという経過もあります。これに関しては、皆さんもご存じかと思っておりますけども、そういうことを考えて、20年後、30年後のことを考える際に参</p>

	考になるのかなと思って、昔の人間が若い人たちにとやかく口を出す必要はないのかもしれませんが、そのような住民の方々、余目の方の意見も聞いた方がいいのではないかなと心配しております。
教育長	どうもありがとうございました。意見を受けまして、事務局いかがでしょうか。
教育課長	ご意見、ありがとうございました。余目地域の方の意見も聞くべきではないかというご意見だったかと思います。今日、立川地域、この会場で地域意見交換会を行っていますが、これまで、一小学区、二小学区、三小学区、四小学区と順をおって開催してきました。同じ資料で説明させていただいています。余目地域、一小、二小、三小においては、小学校の建設場所について、中間地点がいいのではという意見は出ておりませんでした。この件に関しては、意見として出てこなかったということでもありますので、余目地域の方々の考え方が、正直わからないところはありますけども、立川地域では、このような意見も出たということで審議会に報告はさせていただきたいと思います。
教育長	それでは、他に小学校の整備についてのご意見、ご質問いかがでしょうか。
A	今、距離的なことが問題になっていると思います。当然、スクールバスということが出てくるとは思います。少し後の話になると思いますが、今のスクールバスのような座面がぺちゃんこのようなシートでなくて、観光バスのような長時間乗っても疲れない、そういうバスを入れてですね、マスコミにもアピールできるようなバスで、子どもたちを安全に運ぶと。私、トイレ付のバスもどうかと考えたんですが、走行中トイレの使用など安全面もありますので、非常時に止まって使うなど使い方を考えて、トイレ付きのバスも遠くからくる子どもたちのために、1台、2台導入もいいのではないかと、若干、統合後の話にはなりますけども、長い通学時間を快適に過ごす、例えば、テレビモニターを付けて、授業の予習、復習をすとかですね、いろんなことが考えられると思いますけども、子どもたちにいい環境で通学できる、バスに乗って学校に行きたいと思えるようなことを考えてもらえればいいのかと思います。私が、四小にこだわるのは、私が四小学区だからではなくて、瀬場、立谷沢、清川とか、そういった旧立川地域のことを考えると、真ん中、一小、二小、三小の子どもはこっちに来るという形で、余談になりますが、この意見交換会も、なぜ、一小学区から始めるでしょうか、なぜ、立川地域から始めないのでしょうか。そういったことから考えると、一小、二小、三小、四小、立小といった優越、そういったことは当てはまらないんですが、物事、一、二、三、四から始まるのは普通かなとは思いますが、例えば、立川から始まって、最後に一小学区でもいいのかなと考えたところです。
教育長	ありがとうございました。事務局お願いします。
学校教育係長	スクールバスの件でお話させていただきますが、バスの乗車時間が快適に過ごせるように、例えば、映像を流したりですとか、楽しい学習をしたりとかそういった工夫が必要ではないかということ、その辺は、先進地の実施例を

	参考にしながらい進めていきたいなと思っています。スクールバス仕様のことでご質問あったのですが、審議会の中では、まだ、意見をいただいてなかったのので、このような意見があったということ、審議会で報告させていただきます。
教育課長	私から、なぜ、会議が一小から始まったかということにつきまして、事務局として意図がありまして、一小、二小、三小学区では、予想でそれほど大きな意見は出ないだろうと思っておりまして。立川地域、四学区については、いろんな意見が出てくるだろうと思っておりまして、先にいろんな意見を集めてから、こちらの意見交換会に臨みたかったということもございまして、先に一小、二小、三小から始めたということになります。
教育長	他に小学校整備について、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。
E	資料8ページにあります一番下の放課後こども教室への配慮ということで、学校は統合すればいいのですが、子どもたちの負担のことを考えれば、共働きの家庭が多いので、そういったことも含めて、ここでは、各まちづくりセンターで実施し、好評を得ているとは書いてあるのですが、どうして第二学区の放課後こども教室の場所があそこに移ったかというようなことを聞いていますが、うるさいからだとか、近所からいろいろな意見があつて、ああいうふうな形になったのかなということを知りました。ですので、地域地域で近所の意見も聞かないといけないと思うんですが、親御さんのことを考えれば、小学校を統合するのであれば、是非、その敷地内に学童保育を設けてほしいなと思っていますので、是非、子どもたちのことを考えて、保護者の意見も入れたうえでお願いできればと思います。
教育長	ありがとうございました。事務局お願いします。
教育課長	放課後こども教室についてのご意見でしたけども、放課後こども教室というのは、学童保育のことではありませんので、放課後の子どもたちの遊びの場をつくるということでやっております。学童保育はまた別の施設になりますので、学童保育は、新しい学校ができれば、その学校の敷地内にとのご意見かと思っておりますけども、この放課後こども教室は、地域の方が先生となり、いろいろなメニューをもって子どもたちと接してもらっているわけですので、その辺のことの統合後の在り方については、これまでの経緯がありますので、地域の方々と保護者の方々と交えて丁寧に進めていくべきだろうと意見をいただいておりますので、そのとおりに進めていきたいと思っていますところです。
教育長	他にございませんでしょうか。
F	今回の意見交換会にあたりまして、7回、会を重ねてきたということでしたけども、遊佐町でも近年統合があったかと思いますが、その辺、何か調査などは行っているのでしょうか。
教育長	ありがとうございます。事務局お願いします。
教育課長	遊佐町については、今年度小学校が統合され小学校がスタートしておりますけども、遊佐町の進め方等につきましては、どう進めたかということで、い

	ろいろ資料をいただいたりしてその辺は参考にさせていただいているところ です。
教育長	他にございますでしょうか。ないようでしたら、小学校につきましてはこれ で終了させていただいてよろしいでしょうか。それでは、つづきまして、中 学校の学校整備について移りたいと思います。中学校の整備について、審議 会の考え方としては、中学校は1校とするとしたうえで、理想としては、立 川地域、余目地域両地域の生徒、保護者の負担を軽減するために中間的な場 所に新たに校舎を建設することが望ましいが、現余目中学校の施設の大き さ、統合した場合のスクールバスの必要台数、既存社会教育施設の利用のし やすさや将来的な小学校建設などの財政負担などから総合的に判断して既 存の余目中学校校舎を長寿命化改修し使用することが望ましいという方針 (案)になりました。そうした際は、立川地域の生徒、保護者の負担を少し でも軽減できるような最大限の配慮が必要だということも出ております。具 体的には、先ほど説明があった内容になりますが、 資料4 8ページに記載し てある学校整備にあたってのご意見も含め、皆さまからご意見を頂戴したい と思います。いかがでしょうか
G	資料9ページの小学校、中学校の学校整備の実施例とありますけども、中学 校の1年目ということで長寿命化基本設計ということで記載されておしま すが、こちら町の予算で基本設計の方が予算化されているかと思いますが、 こちらはどのように進んでいくような感じになりますか。
教育長	事務局お願いします。
課長補佐	こちらの方については、審議会の意見がまとまったということで、発注した ところでは、業者が決まって、基本設計を進めているところでは、
教育長	よろしいでしょうか。他にございますでしょうか。
B	今の説明を聞きますと、結局意見交換会の前にいろいろなことが決まってい たということなんですね。併せて、心配しているのは、余目中学校、私も2 0数年前に勤めていましたけども、その段階でさえ、かなり故障箇所があっ たりとか、いろいろあったので、それこそ、30年、40年先を見たときに 改修して、今の余目中学校が30年、40年耐えられると考えているんです よね。その辺のところをちょっと確認しておきたいなと思ったので質問しま した。
教育長	ありがとうございます。事務局お願いします。
課長補佐	長寿命化については概ね30年と考えております。長寿命化改修すること で、30年は使えると考えておりますので、ちょうど今、40年近くなりま すので、統合する、しないに関わらず、何らかの手立ては必要かというこ とで、今回発注したところですので、よろしく申し上げます。
教育課長	補足させていただきます。余目中学校の校舎が30年、40年使えるのかと いうご意見でしたけども、例えば、この建物、立川庁舎は昭和54年ころの 建物だったでしょうか。それから立川小学校、昭和47年の建物でございま す。建物のコンクリートの本体がしっかりしていれば、その周りの化粧をし

	直せば、躯体がしっかりしていれば、十分使えると判断していますので、今回、余目中学校についても当面は大丈夫だというふうに思っています。
B	校舎の下まわりとか、その辺の部分も大丈夫ですか。
教育課長	建物の基礎につきましては、余目中学校は昭和63年の建物でございますので、十分に地盤調査したうえで建物を建てていますので、沈下等の問題はないと思っております。建物に多少のひび割れ等があれば、補修し、その上を塗装をかけて、ひび割れが広がらないような処置をすれば十分対応は可能だというふうに思っています。また、設備的に水回り関係等は痛みが激しくなっておりますので、その辺は全面改修して新しいものに入れ換えれば、そこから、20年、30年は使用可能だと思っております。余目中学校の建設は昭和63年ですので、築35年くらいになりますので、これまで水回り関係もっておりますので、これから全面入れ替えれば、同じくらいの年数使えるのではないかと思っております。
教育長	よろしいでしょうか。
B	私がいたとき、水回りのところで、水溜りが出来ていたりとか、そんなことがあって随分苦労した記憶があるんですよ。その辺のこともちゃんと見たうえで、今の話が出てきているのかなと思いました。その辺のところはどうなんでしょうか。
教育長	事務局いかがでしょうか。
教育課長	地下水については、ピットと言われる部分に地下水が溜まるということは承知しております。その地下水が溜まることはどんな建物でも、立川中学校でも、ある程度溜まるものです。それを排水する設備、水を抜く設備をきちんと整備すれば、水の溜まりの問題は解消できるのかなというふうに思っております。今現在、その設備は確認しておりませんが、長寿命化するために業者がやっと決まりましたので、その辺も含めまして何を直さなければいけないのか、どこが問題点なのか、その辺をこちらから伝えて改修していく設計プランをつくってもらおうよう考えております。
教育長	よろしいでしょうか。他にございませんでしょうか。
C	資料2ページの方で小学校の児童数について、令和3年度では903名、令和11年度では654名ということで年々減少の傾向にある説明がありましたが、それを受けて、学校数を減らすという計画で進めていくわけですが、万が一、少子化対策が成功して、児童数が増える、または、減らない状況にあった場合のことは考えていますか。児童数が増える、または、減らない状況のことも考えておかないとダメなのではないか。
教育課長	子どもが増えた場合どうするかという話ですけども、これまでの人口推移、町の総合計画にあります将来的な予想を立てております。それが町の将来的な人口の予想だろうと思っております。これは、今ある少子化対策をいろいろやったうえでこのくらいの人口になるだろうと、何もしないでこうなるのではなくて、少子化対策をしたうえで、このくらいの見込みになるだろうとい

	うことで、町の総合計画の人口推移の予想を立てております。それをもとに考えておりますので、人口が増えた場合ということでは、審議会には資料を提示していないという状況であります。
教育長	よろしいでしょうか。
C	私の考えは、これから高速道路ができる、いろいろ町の状況が変わっていくんですよ。高速道路ができれば、町の計画も変わって来るでしょうし、企業誘致も考えられます。そうすれば新しい住民も増えるのではないかと、若い世帯も増えるのではないかと考えられます。児童生徒数が減ることばかりを考えないで、増えたり、増えないまでもこのまま維持していくことも考えておかないと計画案は複数あった方がいいのではないですか。
教育長	ありがとうございます。事務局お願いします。
教育課長	先ほどと話が繰り返しになりますが、町の総合計画の中に町の人口の総合的ビジョンというものを載せています。これは、いろいろな社会的条件を加味したうえで載せた人口ビジョンであります。高速道路が開通するだの、町で子育て住宅等の施策をして、そのことを加味してつくっております。国の方でつくっております。国立社会保障問題研究所が出している人口ビジョンより、町の計画は、それより町で頑張るからということで人口を増やしている計画になっておりますので、それをもとに教育委員会でも、そのビジョンより増やすのは難しいだろうという判断をさせてもらっておりましたので、そういう資料で審議会に提出させていただいている状況です。
C	2回とも同じ答えですが、人口が増えた場合はどうするのかということで質問しているんですが、学校数を減らす計画は変わらないということでしょうか。
A	大雑把な話になりますが、一般の意見交換ということで、ここで話をしていますが、私も孫がいますけども、ここに集まっている世代はおじいちゃん、おばあちゃん世代が多いと思っておりますが、実際、中学校、小学校に子どもを通わせている父兄はどんなふうを考えているのか、実際、自分の子どもを小学校、中学校に通わせることになる若い世代の保護者の考え方はどうなのか、そういった若い世代の人たちの意見を聴ける場を、短いスケジュールの中ですがあってもいいのではないかと思います。この場にそういう人たちが来てくれれば一番いいのかと思っておりますが、実際は子育てが終わったような方々が多いように思われます。そういったことで、孫たちのことをいろいろ考えて意見を出しているとは思いますが、若い人たちの意見を聴く機会があった方がいいのではと思います。庄内町が合併して18年ほど経過しておりますが、今、18歳、19歳の子どもたちは庄内町生まれの子どもたちなんですよ。余目生まれ、立川生まれでなくて庄内町なんです。いろんな歴史的なこともありますけども、それこそ十六合地域において、昭和の合併の際に2集落が立川町に編入されたとかですね、昔の経緯はありますが、庄内町で生まれた子どもたちがこれから大人になっていくわけです。おじいちゃん、おばあちゃん世代の意見も大切ですが、若い世代の意見を聴いていた

	だいて、遠くても余目へ通わせてもいいよという意見もあると思いますし、そういったことで、もう少し意見集約出来たらいいのかなと思います。あと、余目中学校の改修になりますが、令和5年に国の補助金が変わったように聞いておりますが、1/3から1/2に変わったということですが、余目中学校は該当するのでしょうか。
教育長	ありがとうございます。事務局お願いします。
教育総務係長	若い人の意見を取り入れてもらいたいということでしたが、昨年実施したアンケートには、保育園、認定こども園、幼稚園、小中学校の全保護者を対象として回答をいただいているところです。今回の意見交換会についても、私たちとしても、若い方の意見を聴きたいと思ひまして、保育園、幼稚園にはポスターを貼ってもらったり、声掛けしてもらったり、周知してきましたが、実際のところ、保護者世代の参加は少なかったと感じているところです。
課長補佐	補助率の関係でしたけども、長寿命化、リフォームした場合は1/3、新築した場合は1/2ということになっておりますので、統合する場合は新築になりますので1/2となりますけども、既存の校舎を利用して統合する場合は、今、把握していないので、確認したいと思ひます。
A	令和4年5月の文部科学省の行政の説明資料によると、長寿命化改修の補助率は1/3から1/2に引き上げられたというようなことがあるんですが、その辺よく調べていただいて、なるべく町民の負担が少なくなるように頑張っていたら、今日は、多数の議員の方もいらっしゃっておりますし、是非、負担が少なくなる方法でお願いします。
教育長	ありがとうございます。他にございますでしょうか。
H	確認ですが、余目中学校が予算化されていると。審議会で中学校は余目中学校を長寿命化で使うということで話し合われている途中ということで、聞いていたのですが、私は、余目中学校の長寿命化が予算化されていると聞こえたのですが、審議会は答申が11月ということになってはいますが、私の聞き間違いでしょうか。
教育長	事務局お願いします。
教育課長	その件につきまして、私の方から詳しく説明させていただきます。今年度予算がついている分につきましては、余目中学校の長寿命化の基本設計の設計料が予算化されているということになります。余目中学校は昭和63年に建てております。築35年ということで水回りが非常に古くなっております。資料9ページをご覧くださいなんですけども、余目中学校を長寿命化して統合する校舎を造ろうとしても最低でも6年以上はかかることになります。基本設計から段階を踏んでいくわけなんですけども、事務局としましては出来るだけ早く、中学校は統合なるかもしれないという前提で予算を組みましたけども、仮に統合にならない場合でも、あと数年間余目中学校を使わなくていけないこととなりますので、その場合も考えて、その場合は、あと数年使える分だけの工事はしなければいけないと思ひておりまして、その辺を踏まえて、途中で軌道修正することも踏まえて、予算化したところです。

H	余目中学校はだいぶ古くなって、統合して、余目中学校を使う、使わないにかかわらず、長寿命化するための基本設計はしなければいけないという理解ということで。私もお案内をいただいたときに、今後意見をまとめるにあたっての我々、地域住民の意見を聴くというふうに書いてあったもんですから、先に決まっていたんだったら、意見交換会はいらないのではと思ったものですか。
教育長	他にございませんでしょうか。
B	保護者の意見ということで資料の6ページ(6)を見ると、例えば、余目の第一学区から第四学区まで見ると学校数を減らして重点的に、逆に立川地域の%を見ると2校をそれぞれ改修に振れているんですね。保護者は数は少ないけどもそういう気持ちを持っているのかな。最終的には一緒になるのは仕方ないけれども、現段階としては、線引きはそれぞれの学校を改修してほしいなという気持ちがこの数字に表れているのかなと私はよんだのですが、どうでしょうか。
教育長	はい、ありがとうございます。事務局お願いします。
教育課長	狩川地区の保護者の欄を見れば、1校に減らして重点的に整備していくというよりは、それぞれの学校を改修していくという意見の方が多くなっているの、それを見れば狩川地区の人たちは今の中学校を望んでいらっしゃるのかなと思われるところですけども、一般町民の方を見ると、狩川地区の人でも学校数を減らして重点的に対応するという意見が多いという実態がございました。この辺、なかなか難しい判断だなと思ったところです。ちょうど半々くらいなのかなと思ったところです。
教育長	中学校に関して、いかがでしょうか。何かございませんか。 それでは、全体を通しまして何かございませんでしょうか。
C	小学校が1校になるか2校になるかという話になるが、先生たちは大丈夫なんでしょうか。
教育長	ありがとうございます。それにつきまして、事務局お願いします。
指導主事	先生の数についてはクラス数で決まりますので、クラス数が多くなれば、その分、先生の数も増えることとなります。
教育長	よろしいでしょうか。
C	20年後、30年後、子どもの数が減ることであれば、首になる先生が出てきませんか。立川地域で、小学校、中学校がここからなくなると、地域ごとで不平等になる。以前も話したことがあります、庄内町にトレーニングルームがありますが、肝煎から総合体育館まで20数キロあるので、これも不平等になります。子どもたちもスポーツ関係、どんどんやらなくなってしまふ。部活関係でどうやって移動するか。親の負担が増えるんじゃないですかね。私も水泳指導員なんですよ。鶴岡、酒田にはプールがあるが庄内町にはプール施設がなくなった。庄内町はスポーツ関係にもっと力を入れた方がいいのではないかな。
教育長	事務局お願いします。

指導主事	先生が首にされるという件ですが、正職員の学校の先生ですが、町立の小学校、中学校には、県費の職員が配置されておりまして、町内だけで異動するわけではなく、県内で異動しますのでその点の心配はないかと思えます。
教育課長	二点目の立川地域から人がいなくなってしまうのではないかと、平等ではないのではないかとのご意見でございました。本日、いろいろなご意見をいただきました。このご意見につきましては、次回の審議会の方に報告させていただいて、その意見を踏まえて最終的な答申を出していただきたいと思えます。部活動の移動に関しては、先ほども申しましたけども、今後仮に統合という形になれば、その中でどのような配慮が必要かということを検討させていただきたいと思えます。
教育長	他に全体を通しまして何かございませんか。それでは、他に無いようですので意見交換をこれで終わらせていただきます。進行にご協力していただきまして、ありがとうございました。
5 その他	なし
6 閉 会	20:40